

## 事業概要書（ひちくボランティアセンター）

事業名	H30年7月豪雨 愛媛県宇和島市「災害ボランティアセンター運営支援」事業				
開始日	2018年7月10日	終了日	2018年9月30日	日数	83日
団体名	ひちくボランティアセンター				
(カウンターパート)	宇和島市社会福祉協議会、玉津自治会				
担当者名	松永、河津	スタッフ人数	8名		

事業費総額（税込）	1,000,000 円
CF 事業枠	1,000,000 円
その他資金	0 円

事業目的	<p>発災直後からの災害ボランティアセンター運営サポートとサテライトの立上げ支援やニーズ調査、資機材の貸与などを行う。</p>
事業全体の概要	<p>●<u>ひちくボランティアセンターとは</u>                  2017年7月5日のH29年九州北部豪雨水害（H29 災）で甚大な被害を受けた大分県日田市において民間支援団体で形成されたネットワーク団体で、行政や市社協と連携しながら、被災者ニーズの対応とボランティアの受け皿として活動。日田市はH24年九州北部豪雨や熊本地震でも被災し5年間に3度も激甚災害に遭った全国でも珍しい地域である。次の災害に向けて災害に強いまちづくりを目的とし、H29 災の被災者支援の一環で、泥出しボランティアや交流の場づくりとして地域の交流会の開催、みなし仮設住宅入居者支援などを行っている。また、日田市だけではなく被災した朝倉市や東峰村などとも情報交換をしつつ連携して活動している。                  代表：江田泉（鶴の恩返し）                  世話人団体：鶴の恩返し/ボランティアネットワーク チーム大分/NPO 法人ひたにわ/NPO 法人学び合い</p> <p>●<u>「チーム大分」とは</u>                  主に日田市在住のメンバーで構成され、東日本大震災熊本地震など多くの被災現場で支援活動を行っており、昨年の九州北部豪雨では初動期から約一年間支援活動を行ってきた。今回のH30年7月豪雨では近隣の福岡県久留米市へ支援に入り、宇和島市には7月末より現地入りして活動を泥出しやプロボノ支援などを行う。</p> <p>●<u>「鶴の恩返し」とは</u>                  H27年の熊本地震より災害支援活動をスタートした団体で、昨年の九州北部豪雨では代表自らも被災したにも関わらず、発災当初から地元日田市大鶴地区で支援活動を行っている。</p> <p>●<u>取り組むべき課題</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7月12日から6日間、先遣隊として宇和島市へ行き現地調査や災害ボランティアセンターのサポートを行ってきたが、今回は西日本一帯の広範囲に被害が発生しており、特に被害の大きい地域には目が向いているが、報道などに取り上げられない地域では支援団体（特に水害支援経験者）やマンパワーが不足している。</li> <li>・H29 災の際、ボランティアに作業依頼するのを遠慮している被災者も多く見受けられ、発災から数か月経過してからニーズが上がったケースもあった。宇和島市は被害が少ない地域で、受援力が乏しくそれ以上に同様のケースが出てくることが予想されるため、丁寧かつ地道なニーズ調査が必要となる。</li> </ul>

	<p>●<u>パートナー協働プログラム対象事業</u></p> <p>□災害ボランティアセンター運営支援  水害支援経験を活かし、被災者の声を聞きながらニーズ調査を行い、ボランティアの受け入れ、マッチングなどのサポートを行う。また、ボランティアセンターで対応できないプロボノニーズがあった場合に経験者に繋ぐなどのコーディネートを行う。</p> <p>●<u>期待される効果</u></p> <p>災害ボランティアセンターは経験のないスタッフがほとんどであるため、運営に重点がおかれがちの中、丁寧にニーズ調査を行うことで取りこぼしを防ぐことができる。  <b>H29</b> 年水害の際も家屋の中に泥が入ったまま改修しようとしていた方がいたことから、宇和島でも被災している家屋に対してアドバイスすることで、住民の知識となり、今後に生かせる。  災害ボランティアセンターのスタッフが少ない中、被害は点在しておりサテライトの立上げ支援をおこなうことで、スタッフの負担軽減と次の災害時の対策となる。  またプロボノ系の支援を行うことで早期の作業完了が見込め、時間経過とともに進む家屋の損傷を最小限に食い止めることができる。</p>
	<p>事業内容(事業種別 (コンポーネント) ごと)</p>
<p>1 災害ボランティアセンター運営支援  水害支援経験を活かし、ニーズ調査やボランティアの受け入れ、マッチングなどのサポートを行う。また、ボランティアセンターで対応できないプロボノニーズがあった場合に経験者に繋ぐなどのコーディネートを行う。</p>	<p>裨益者 (誰が、何人)</p> <p>宇和島市吉田町、  5000 人</p>